

刊夕 日十月六



定価 一部五銭 一ヶ月五拾五銭 三ヶ月一圓二角 半年二圓 一年三圓
 発行所 東京市本町三丁目 朝日新聞社
 電話 六三〇〇
 印刷所 東京市本町三丁目 朝日新聞社

天孫民族の徳化 二

(石城郡教育部會總集會講演大要筆記)

伯爵二 荒 芳 徳

殊に天孫民族が相互に自らを天孫民族なりと證明する場合に於ては、弓矢其他の武器を互ひに示し合つて一つの合符にしてゐたことによつても解るのである。

此の点に於て餘事ながら少年團の我が健兒の三指禮が健兒相互の記號であることは、その三種の神寶の意義と結び付けて一層深い意味がある。

次に天孫の降臨後に於ては天孫民族の至る處、異民族は總べて悉く歸服して居る。

日本書記はその獨特なる雄渾流麗なる文章を以て天孫降臨の様を記述して居るが、天忍穂耳尊御一氏がかかりで平定の曙光を見た葦原の中つ國は、皇孫降臨の神勅のあつた當時、既に異民族は相當の程度に歸服して居たと思はれる。即ち、皇孫降臨の途上に、そこに大きな抵抗や、陰謀はなかつたらしく思はれる。謂はゞ堂々たる入城式にも足る民族大移動であつたのであらう。

皇孫降臨の神勅のあつた時より、皇孫降臨の神勅のあつたまでの間には高天原から少くも四人の使者が出て居る。天菩比命、天若日子命、雉名鳴女、建御雷命がこれである。初の二神は出雲朝の勢力に壓されて天高原に歸還せず、雉名鳴女は、使者として出先で殺され、建御雷命によつて初めて中つ國の國讓が成功したのである。

皇孫降臨の神勅のあつた時より、皇孫降臨の神勅のあつたまでの間には高天原から少くも四人の使者が出て居る。天菩比命、天若日子命、雉名鳴女、建御雷命がこれである。初の二神は出雲朝の勢力に壓されて天高原に歸還せず、雉名鳴女は、使者として出先で殺され、建御雷命によつて初めて中つ國の國讓が成功したのである。

不二タクシー

電話 32番

の祖國であり、素盛鳴尊の出雲への進展は天孫民族の國際的進展の第一期の行爲であり、その素盛鳴尊の後裔たる大國主命の出雲地方を天祖に献せられたのは、古典に現はれた第二期の國際的進展であり、皇孫邇々藝尊が筑紫の日向に降臨されたのは、天孫民族第三期の國際的進展である。殊に皇孫の降臨に至つては國つ神(先住民族)の猿田彦の神は、皇孫の御一行を欣然と

【朝】味噌汁 わかめ 小付 いんげん辛煮

【晝】トマトケフヤツプ入りため御飯(葱)

【晚】照りやき 生鮭 酢取りへぎ生姜

白味噌汁 豆腐 生トいたけ 小皿 生ト

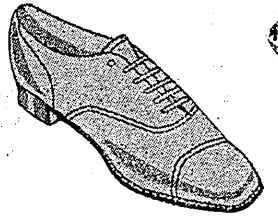
大國主命の國讓の章を見ても、當時の天孫民族の徳望が明に窺はれるのであつて、決して暴力や、殘忍の行爲はなく、寧ろ四人の使者によつて條理をつくし、

文藝募集

して迎へ道案内をしたことによつても、天孫民族は先住民族に徳望のあつたことは實證するに力ありと信ずる。

格

紳士靴
 婦人靴
 學生靴
 夏向白靴



●各種取揃へてあります
 ■自製注文靴は品質吟味……
 期日迅速に……
 御用命の程を……

菊地靴店
 電話六五九
 平四 マルト内

勉

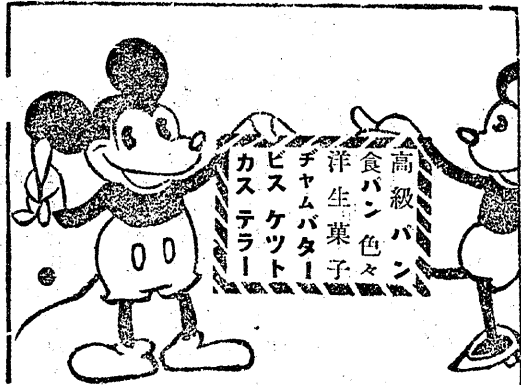
強

安

美味……
 新鮮……

ベーカーリー
 東京堂のパン
 是非御試食を!

平橋雄小路
 電一〇八番



磐城セメント會社特約店



□良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は人の生命なり

磐城平町五丁目 電話九九九

謹啓

加納五郎儀豫而病氣の處養生不相叶本日午前拾壹時拾分死去仕候間此段謹告仕候

追而葬儀は明後拾壹日午後貳時自宅出棺
 平町營火葬場に於て相營み可申候
 昭和拾壹年六月九日

養嗣子 加納邦平
 親戚 加納惠太郎
 總代 小野十郎
 友人 松本孫右衛門
 總代 佐藤庄太郎

當社監督加納五郎殿儀豫而病氣の處養生不相叶本日午前拾壹時拾分死去仕候間此段御謹告候也
 昭和拾壹年六月九日
 福島縣石城郡小名濱町
 小名濱水産株式會社

吸入用酸素純度 99%

モノサシ
 マス
 ハカリ
 器量計
 體温計
 寒暖計

關内藥局
 電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

豊年を

豫想して

精出す田植

二十日前後が最盛期

六月も後二旬を残り、昨今石城地方の田植は例年の如く、磐崎村大字川上部落並に上遠野村大字深山田兩部落が早くも去る一日頃より郡内のトツブを切つて娘達の田植歌も賑やかにが始まつたので、此の二十日頃は最盛期となり全部至る處菅笠姿が元氣に働いて居るの

大事な鯉漁を前に

機關故障の磐城丸

期間も決まらぬ縣會を一ヶ月餘も待つて居る

縣の放漫な態度

縣漁業指導船磐城丸は去月十日鯉漁場調査と水産講習生の實地訓練を兼ね勇躍小名濱港を出帆したが同港二十哩の沖合で不幸機關故障を生じ附近航行中の漁船に曳航されて

逆戻りした不始末は

まだしても此の機關故障修理に五千三百五十圓を要するのだから臨時縣會に諮らねば駄目だと、本縣漁船が寒波の襲來で未だ北上出来ず八丈島附近に居る鯉の群を捜し求めて悪戦苦闘して

力のデザル補助エンジンを裝備時速十節を出し無線電信電話を初め海洋調査に必要な諸機關を備へてゐる船である

好問農事

更生計劃

好問村大字上好問農事實行組合は組合員數十八戸、耕地反別田十八町六反歩、普通畑九町歩、果樹園八町五段歩を有して優良實行組合として知られてゐるが今後益々將來への發展を圖るた

高等小學記念式に

郡内功勞者表彰さる

十三日縣教育會館に舉行される本縣教育會主催高等小學教育五十年記念式に功勞者として表彰される本郡内の教育者左記の如くである

- 二校長 佐藤一 永井校長
- 小玉善治 好問第一校長
- 吉田庄太郎

けふ時の記念日

は時の記念日、平町では正午を期して城山の鐘を始め各工場の汽笛を一齊に吹き鳴らし注意を喚起した

陸軍省から

鐵工業視察

軍需品注文の爲め

ぬものと見られて居る爲め陸軍省も多大の注文を拂ひ近く軍需品の下請負を行はせる爲め現地調査を行ふ旨縣を通じて通達があつた由

草丘畫伯行脚

帝展に作品を出品して鬼才を認められてゐる帝展作家磯部草丘畫伯は九日來平の上平町尼子亭に滞泊本十

賞會及び座談會を開催する由

平職業紹介所報告

- △出前持 廿才前後 尋卒 給料四、五圓
- △材木運搬夫 卅五才迄 日給一圓五十錢
- △農夫 四十才迄 月給十二圓
- △同 四十才前後 月給十八圓
- △旋網漁業 四十才迄 月給廿五圓
- △女中 四十才迄 尋卒月給四、八圓

職を求めの方

- △精米夫 廿四才 尋卒
- △トラック助手 廿才高卒
- △荷上人夫 卅二 尋四修
- △給仕 十七才 高卒
- △事務員 卅三才 乙工卒

平町人事

- △長橋町一九當時茨城縣多賀郡助川町大字助川猪狩齡雄氏二女泰子さん
- △茨城縣多賀郡助川町大字助川四九〇中安一氏(二)
- △田町九一鹽澤テル中さん(二)
- △白銀町一二土屋重勝氏(三)
- △神谷村大字鎌田宇岸二〇澤田マッヨさん(二四)

回死

- △紺屋町一四加納五郎氏(七〇)
- △南町六六當時東京市下谷區入谷町四一八芹澤忠次氏(三三)

誰にも愧いし思ひせし買る

(通 信 販 賣)

絶対保證できる性器具

衛生サツク
壹號品 一打 壹圓也(送料共)
貳號品 〃 六拾錢也(〃)
特製品 〃 四拾錢也(〃)

お求めの御方は平局内私書函第三十四號宛爲替封入申込みますと直ちに郵送荷造の上個人名義にて送附いたします。(切手代用は「割増」但し代金引換はお断りいたします。)

●性病豫防 ●産兒調節

名宛 平郵私書函第三十四号

部生衛會商 (谷)

ポニイ

小型活動寫真機

- 改良された前進號 撮影機 ¥ 25.00
- 映寫機 ¥ 24.00

(カタログ進呈)

平 二・電 3

西村屋藥局カメラ部

ウワツハツハツハ

生の旨さを知らずに

ビールを語るなんて?

例年の通り 生ビール 賣出し

キリンビール仙臺工場直送

……(毎日午後三時着荷)……

洋食ハ **平會館**

婦女専門に

潜り周旋屋の毒手

脅迫悪行至らざるなし

小名濱生れの千葉春喜

小名濱町生れ潜り周旋業千葉春喜(三)は既記の如く婦女誘拐の罪に依つて土浦署で取調中であるが去る四月中東京市外西多摩郡菅生村惣助妹小山かつさん(三)をカフェーから連出し刺月で脅迫し 同月上旬土浦榮町料理店吉野屋方に百七十圓の前借で住込ませても親の承諾がないので陸軍中佐小野寺義典といふ叔父があるといひ加減の承諾書を作成更に之を連出さうとしたが隙がなく下妻町喜代ホテル方へ去

踏倒し

某料理店へ二百圓で賣り飛ばし向東京生れの清水しめ(三)を誘拐群馬縣前橋市の料理屋へ二百八十圓で住込ませた餘罪を自白した由にて彼の毒手にかつた婦女子は實に十數名の多數に上つて居ると

踏倒し

湯本町大字湯本字吹谷按摩業武田定三郎(三)は昨九日夜七時頃泥酔して同町駐在所宗像巡査方に暴れ込み同巡査が制止するや矢庭に同巡査の右手指に噛み付いて全くメクラ滅法に暴行を働へたので平署に検束されたが同按摩は此の程住所を

月十八日百七十圓で住替させ間もなくドロンを極め込ませまた昭和七年一月中小名濱町中島料理店君ケ代方酌婦石川かめ(三)の前借二百圓を

メクラ滅法

駐在所で暴る

巡査も手餘しの按摩

湯本町大字湯本字吹谷按摩業武田定三郎(三)は昨九日夜七時頃泥酔して同町駐在所宗像巡査方に暴れ込み同巡査が制止するや矢庭に同巡査の右手指に噛み付いて全くメクラ滅法に暴行を働へたので平署に検束されたが同按摩は此の程住所を

移轉したので宗像巡査が轉居届けを出せと云つたのを變な風に解釋して此の暴行を働へたもので一時は初宵の人の出盛りとて大變な騒ぎを演じた

修學旅行歸る

平町各小學校尋常六年生の修學

旅行團はけふ午後八時四十分五分平驛着臨時列車で東京から歸る

十四歳の少年が

仲間の金を盗み

東京に高飛びして豪語

『シマッタ』の一言

湯本町大字湯本字三函二一〇大工職小井戸庄吉方徒弟弟警崎村大字湯長谷字長倉生れ高田四男(一)假名は去る六日午後一時頃兄弟子の龜岡徳雄が仕事場に置いた上着のポケットから現金二拾餘圓在中の墓口を窃取その足で二時二十二分湯本驛發

の上野行で逃走、手に依り上野驛でウロウロしてゐる處を九日逮捕された、懐中には未だ現金十餘圓を所持して居り取押へられた際も悪びれず「失敗だつた」と豪語して居り未だ恐い少年であると係官の舌を巻かせてゐる

飯野村大字南白土字左宿農保雄孫江尻繁男(一)假名は平町三丁目圭王堂で祖父の印鑑を偽造して祖父の郵便貯金通帳を持ち出し數回に

印鑑を偽造

祖父の貯金をチビく

下げ戻して大盡氣取

窃盗も自白

直つて四十五圓餘の拂戻しを受け酒食に費消したこと發覺平署に九日檢舉されたが取調べの結果去る四月五日同村小學校庭で同村山野

明日の天気

今夜は北の風晴
夕立模様明日は
は北東の風曇時
々晴

今晚の部

- 後六、〇〇 お話「物の始り」宮地政司
- 後六、二五 基礎英語講座 鹽谷榮
- 後七、二〇 滿洲國治外法權 部撤廢調印記念日滿交遊放送 兩國外相
- 後七、四〇 講演「生命は時なり」矢野恒太
- 後八、〇〇 講演「時に仕

明日の部

- へて廿年」村上勝衛
- 後八、一〇 獨唱と合唱 武岡鶴代大阪放送局唱團
- 後八、二〇 立體漫談一言 葉を忘れた藤原釜足「神田千鶴子他
- 後八、五〇 箏曲「御代萬歳」山勢松韻他
- 後九、〇五 長唄「漁樵問答」芳村伊四郎他
- 後九、三〇 明日の話題 氣象通報 番組預告
- 邊壽勝所有の煙草のバット 五個其他在中の風呂敷包一
- 前六、三〇 基礎フランス語講座 丸山順太郎
- 前七、〇一 朝の修養「大日經」服部如實(京都)
- 前九、〇〇 衛生メモ
- 前九、三〇 家庭講座「梅千の漬け方 梅酒のつくり方」滿田百二
- 後〇、〇五 ラヂオコメディー「お姉さんの荷ミル」ムーランルージュ連
- 後〇、三五 詩吟 大麻博
- 後二、〇〇 小學生尋四の時間 理科劇「蜜蜂の王
- 個を窃取したこと自白した
- 國「東京清明學園子供會員
- 後二、四〇 小學生尋五の時間「唱歌」東京市窪町校
- 後六、〇〇 童謡と唱歌 福島縣福島市第一信夫郡飯坂兩校兒童
- 後六、二五 講演「我國の兩期について」堀口由己
- 後七、三〇 講演「東北と工業」鶴見仙臺高工校長
- 後八、〇〇 清元「古寺」元壽美太夫他
- 後八、三〇 絃樂四重奏「七つの小品より」簽木クワレツト
- 後八、五〇 浪花節「鬼吉の度胸」廣澤虎造
- こと大串米藏方酌婦栃木縣生白髮トキ(三)は六日夜前借三百四十圓を踏み倒し逃走目下平署で行方を嚴探中
- 逃走女給逮捕
- 湯本町大字湯本三函カフエーカスケードと直井ステ方へ去月二十三日訪れた田
- 上田病院
- 平町 南町 電話二一九番
- 村郡生れと稱する妙齡の美女が同家に働くことになり前借金三十圓を受取つて平町長橋町知人宅(氏名不詳)に置いた衣類を持つて來るからと同家コック小沼徳市の付添えて平町に向けて來る途中咽喉がかはくからと内郷村字小島の山形屋こと林サト方に立寄りサイダーを呑むうち付け馬をまいて何れにか逃走行方を晦まし
- たが九日平署員に鈴木トク(三)逮捕された

農民の汗の結晶を

横領費消して知らぬ振

惡納稅組合長檢舉

平町材木町一五馬喰商門田米吉(三)は以前飯野村大字上高久部落の納稅組合長をやつてゐたのを奇貨として組合員鈴木平八米の積立金

背水の陣を敷き

酌婦が無理難題

前借詐欺に違ひないと

大憤慨の抱主

江名町大字中之作料理業新月こと阿部壽吉方酌婦東京市淺草生れの武井ツメ(三)は去る三日親が滿洲に行くから會つて來ると東京市下谷區上根岸の義兄と稱する和田博方に至り前借四百廿五圓を百五十圓に負けろと難題をふさかけた擧句言を

踏倒して

酌婦逃走

平署が捜査

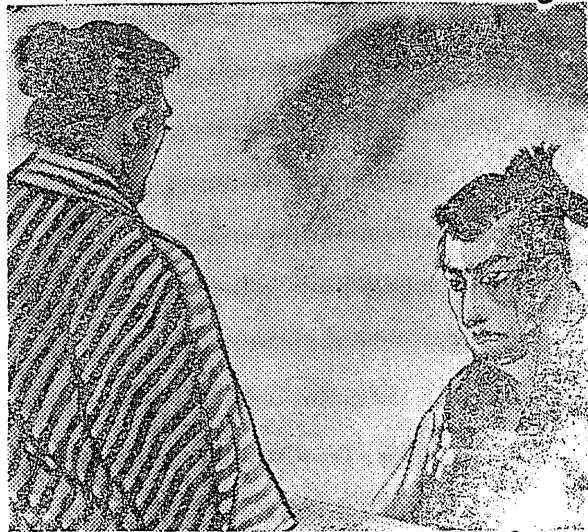
内郷村大字宮字金坂神戸屋



瓦解の設計 (作) 悟道軒圓玉 尾至陽 (畫)

一四三 不思議な命

青木彌太郎は熱病におかされて疲勞してゐるにもか...



小三好どの、もう今日はこれでやめてはどうか、青木は死ぬ決心をしてこの牢問ひをうけてゐる、この上せめるは無益なことだ、こ...

といはれて三好もこれを機會にせめてゆるめ、薬をあたへて牢にもどした。青木が無事に飯つて来たを牢名主の多治見が見てびつくりした。今日は生きては歸るまいと思つてゐたところが無事です實に不思議だといつた、そこで囚獄係り今

つよくは責なかつた、うちに御奉行池田播磨守は轉役いたしました、これが青木の幸ひになりました、その内揚り座敷の普請が出来たについで揚屋からこれへ引うつることになつた、その時に名主の多治見が...

がよく養生をいたせと申したさうです、青木も助かつたを不思議に思つた、かういふ人物ですから病の方がおどろいて退散して日を追つて氣力がつき、ます、元氣は旺盛となるこれ以來引きだされたが石は一枚より載せない。青木の強情におどろいて役人も

だ、それは今まで通つて来た道はよくねえが心をあらへば立派な人物だ、どうぞ命をながらへて出たらば世のためにつくしてください私共も今度は改心いたします、青「長いこと厄介になつたが一兩日に揚り座敷に引きうつる、さすれば、當分

會ふこともなるまい、堅固ですごしてください、多「お前さんも達者でゐておくんない、ヤイ、相半の者青木さんは今度揚り座敷に行きなさん、今夜はその餞別をするからおなじさみにかくし藝を御覽に入れる」といつたがこれから酒を取らせ又鰻を買ひ入れたが半名主が十五兩出したこの半分は役人の儲けになるから七兩二歩の鰻です、今ならば五十圓程、いくら健康家でも五十圓の鰻は一度には食べられない、私共にあるブルドックはよく鰻を好むが三圓より食べられぬ。ブルトックと人間とは違ふがろう名主は散財です、その晩は藝のあるものは唄ひまたはおどり彌太郎をなぐさめた、翌日一同に別れて

青木は揚り座敷に引きうつりました、それは慶應二年の五月のことでした、この揚り座敷には青木の世話をするものが二人ゐる、それは巾着切り、こんな者は話相手にはならずといつて書物を見るにはゆるしてくれぬ、まことに徒然です。これ以來呼びだしてもない何ぞして氣をなぐさめねば病氣にかゝる、そこで蓄息また止息、あるひは絶食するも生命を保つ試験をした息をためたまたは息を止めてそれがどのくらゐこらへることが出来るかといふことを体験した、また一粒も食さず十日十五日絶食してそれに自分で咽喉をしめて一時呼吸を止めてそれで生きてゐることの出来るやうにとこれもまた工夫した。

婦産人科科

手術室 完備

醫學博士 五十嵐雄二

平町・新川町二二

五十嵐醫院

電話三七〇番

具雨とケヨヒ

Table with 2 columns: 日除 (Day/Remove) and 具雨 (Rain Tools). Includes items like 店舖用、事務所用、御座敷用、其ノ他、トラツク用、各種雨衣、作業用、馬車用シート.

敷島のヒヨケ如何にと人とおぼ

除日・覆雨諸・暮天山登

店商トテ島敷

目丁六町平

列陳形人月五

新興日本のシンボル!

弊店特製の太鯉のぼり大好評 皇月晴れの空に勇ましい鯉を翻へして日本男児の意氣を壽く五月節句が近づきました。弊店は逸早く尙武の祝に相應しい品々を豊富に取揃へ皆様の御來覽をお待ちして居ります。

- 大鯉のぼり (一間より七間迄)
壱鐘外幟 (御注文に應ず)
特撰武者人形 (箱入ケース入)
甲冑揃
御座敷幟
ツト (五圓より百五十圓迄)

フクタヤ祝品部 平一丁目

北川外科

平町新川町(諸橋醫院跡) 醫學博士 北川芳夫 小林良次 電話四六四番

新發賣一文字帽!

絶体日焦けせず 雨にも丈夫な いつも新らしい 實用新案帽

エバー・ニュー・ストロー

四菱編 五〇ヨリ 支那麥編 六〇ヨリ

お電話次第御覽に入れます

田町通り

玉屋洋品店

電話六五五番